

MS&AD Insurance Group Quarterly Report

MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社

広報・IR部 〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-3-7 TEL: 03-6202-5270(代表) www.ms-ad-hd.com

2011年4月18日

2010年度第4四半期(1月~3月)のトピックスをご案内します。

1. 2011年1~3月の三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の営業概況(単純合算)

*速報ベース、傷害・一般計には長期医療を含む

第4四半期は、主力の自動車保険が引き続き好調であり、一般計で0.1%の増収となりました。年度累計でも前年比0.4%の増収となりました。

(金額単位:百万円)

種目名	第4四半期(1~3月)		年度累計(4~3月)	
	収入保険料	増収率	収入保険料	増収率
自動車	285,521	1.2%	1,172,399	1.6%
自賠責	76,419	0.6%	279,637	0.6%
火災	93,043	5.5%	377,182	4.9%
傷害	50,609	6.7%	202,077	4.4%
新種	63,350	1.3%	291,337	0.3%
海上	22,005	3.4%	97,751	3.2%
一般計	590,946	0.1%	2,420,385	0.4%

2. 主なニュースリリース(2011年1月~3月) カッコ内はニュースリリースの日付

(1) MS&ADホールディングス グループの統合・再編

関連事業会社の統合・再編について(1月13日)

当社は、2010年4月のグループ発足以来、経営の効率化を図るため、傘下の関連事業会社の統合・再編を進めています。その一環として、三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の傘下にある事務事業会社3社を4月1日付で合併しました。また、システム事業会社3社を10月1日付で合併します。今回の関連事業会社の統合・再編は、業務品質の向上とともに、共通機能を持つバックオフィス業務のシェアード(共有)化を加速し、コスト削減などによるグループの収益力向上を目指したものです。

環境・社会貢献

スリランカ東部/ブラジル南部洪水災害被災者への義援金について(2月24日)

当社では、被災地の支援を目的に、グループ各社の社員から義援金を募り、2つの災害合計で、約170万円の義援金が集まりました。また、災害時義援金マッチングギフト制度により、社員からの義援金額に対し、同額を会社側が拠出することで、総額約350万円を被災国義援金受付窓口を通じて寄贈しました。

東日本大震災への義援金について（3月18日）

当社では、被災地・被災者の方々への支援を目的に、グループ各社の社員から義援金を募り、3月15日時点で3,000万円を超える義援金が集まりました。災害時義援金マッチングギフト制度により、義援金額に対し、同額を会社が拠出することで、第一弾として総額6,000万円を寄贈しました。また、早期に現地入りしたボランティア団体等を資金面で支援するため、3月18日に緊急の送金を行いました。

(2) グループ各社

国内事業

モバイル損保設立準備株式会社の損害保険業免許の取得について（2月25日）

あいおいニッセイ同和損保とKDDI株式会社（以下、「KDDI」）は、共同出資によるモバイル損保を設立し、2月25日付で金融庁より損害保険業免許を取得しました。

商号：モバイル損保設立準備株式会社

（3月1日付で「au損害保険株式会社」に商号変更）

資本金：45億円（資本準備金を含む）

出資社：あいおいニッセイ同和損保 66.6%

KDDI 33.4%

営業開始日：2011年5月以降（予定）

積立保険の主力商品で満期時受取額確定型（無配当）を新発売（3月4日）

三井住友海上は、4月1日始期契約より、満期時受取額確定型（無配当）の新しい積立傷害保険・積立火災保険を主力商品として発売しました。新商品は無配当商品のため、従来の利差配当商品よりも予定利率を高く設定するとともに、保険料を低廉にし、高い貯蓄性を有します。また、4月以降、一部を除き利差配当商品を廃止し、新発売の無配当商品のみを販売しています。

あいおいニッセイ同和損保とアドリック損保の合併について（3月30日）

あいおいニッセイ同和損保とアドリック損害保険株式会社（以下「アドリック損保」）は、関係当局の認可等を前提とした会社合併を行なうこととなりました。アドリック損保の事業基盤及び経営資源をあいおいニッセイ同和損保に引き継ぐことにより、合併会社の持続的な成長と企業価値向上を目指していきます。

合併期日：2011年6月1日（予定）

存続会社：あいおいニッセイ同和損保

消滅会社：アドリック損保

海外事業

- 日系損保初 - ベンチャーキャピタル事業をアジアに展開（1月6日）

三井住友海上のベンチャーキャピタル子会社である三井住友海上キャピタル株式会社は、アジア地域のベンチャー・中小企業投資を拡大するため、総額約20億円のファンドを組成しました。また、世界有数の新興国ベンチャー・中小企業投資会社である英国オレオス社と投資先支援等に関する業務提携契約を締結しました。本提携により、三井住友海上キャピタル株式会社の投資先企業（国内）とオレオス社の投資先企業（東南アジア）を結び付け、販路開拓や業務提携等を通じて、両者の投資先企業の事業拡大を支援します。

独立行政法人日本貿易保険と業務提携（1月12日）

三井住友海上は、独立行政法人日本貿易保険と、三井住友海上シンガポール現地法人における貿易保険の引受に関する業務提携契約を日系損保としては初めて2010年12月に締結しました。本提携により、日本貿易保険が現在引き受けることができない海外契約を、三井住友海上の現地法人が引き受けることで、シンガポールの日系企業の貿易保険ニーズに応えることが可能となりました。

災害復旧専門会社とアジア包括提携を実施（1月14日）

三井住友海上は、100%出資するアジア持株会社（MSIG Holdings (Asia) Pte.Ltd. 本社：シンガポール）を通じて、世界トップクラスの災害復旧会社であるベルフォアグループのベルフォアアジア社と、アジア11カ国における包括業務委託契約を締結し、2011年1月よりサービスの提供を開始しました。アジアにおいて外資系損害保険会社トップクラスのネットワークを有する三井住友海上に、ベルフォアアジア社の高い技術力が加わることで、アジア地域でのさらに高品質な災害復旧サービスの提供が可能となりました。

中国現地法人「浙江支店」設立準備認可の取得について（1月17日）

あいおいニッセイ同和が全額出資する中国現地法人「愛和誼財産保険（中国）有限公司」は、1月7日付けで中国保険監督管理委員会より浙江省での支店設立準備に関する認可を取得しました。今後、関連当局の審査を経て、浙江省杭州市において浙江支店の早期開業を目指します。華東経済地区の一つとして経済発展を続ける浙江省に営業拠点を開設することで、中国進出している日系企業などへさらなる高品質なサービスを提供するとともに、営業地域の拡充を目指します。

中国営業体制を大幅増強（1月19日）

三井住友海上の中国現地法人「三井住友海上火災保険（中国）有限公司」は、1月13日に江蘇支店を正式開業しました。また、日系損保初の拠点形態である「営業サービス部」として、1月14日付で広東支店シンセン営業サービス部の開業認可を取得し、1月25日に開業しました。この結果、同社の中国ネットワークは、従来の「3拠点」から「5拠点」へと拡大し日系損保最多のネットワークとなりました。さらに、江蘇支店管下に蘇州営業サービス部の開設も申請中であり、今春には「6拠点」体制となる予定です。

マレーシアにおけるタカフル事業への資本参加について（3月1日）

三井住友海上火災は、損保事業・生保事業で戦略的提携関係にあるホンレオングループ傘下のタカフル事業会社の資本参加について、3月1日付でマレーシアの監督当局より認可を取得し、4月1日付で出資を完了しました。本提携はアジアの中でも重要な事業拠点であるマレーシアにおいて新たなリスク関連事業への市場参入を実現させるものです。

環境・社会貢献活動・スポーツ

～企業が語るいきものがたり Part 4～

企業の生物多様性に関するシンポジウムを開催（1月12日）

三井住友海上は、2月23日に「企業が語るいきものがたりPart 4～愛知ターゲット実現に向け、企業が果たすべき役割～」と題して、環境シンポジウムを開催しました。2010年10月のCOP10（生物多様性条約第10回締結国会議）で締結された新戦略計画「愛知ターゲット」は、各締結国のみならず、企業活動にも影響を及ぼすことが想定されています。今回のシンポジウムの開催は、「企業と生物多様性イニシアティブ（JBIB）」に参加するなど、生物多様性保全活動を推進する同社の環境取り組みの一環として行われました。

自動車保険TOUGH（タフ）シリーズでエコマーク認定取得（2月17日）

あいおいニッセイ同和損保は、自動車保険TOUGHシリーズ（TOUGHクルマの保険、TOUGH Simpleクルマの保険、TOUGH Biz 事業用自動車総合保険）について、財団法人日本環境協会よりエコマーク認定を取得し、2月9日付で使用契約を締結しました。

女子柔道部

・「2011ワールドマスターズ・バクー」（1月15日）

アゼルバイジャン・バクーで開催された「2011ワールドマスターズ・バクー」に三井住友海上から3名の選手が日本代表として出場し、中村美里選手（52kg級）が優勝、上野順恵選手（63kg級）、山岸絵美選手（48kg級）が準優勝しました。